

テクニカル指標/短期トレンド分析/ニュース取得ツール
を生成AIプラットフォームDifyで組み合わせる

自作MCPツールと連携した 為替予測エージェントを作る

ご購入はこちら

鈴木 速太

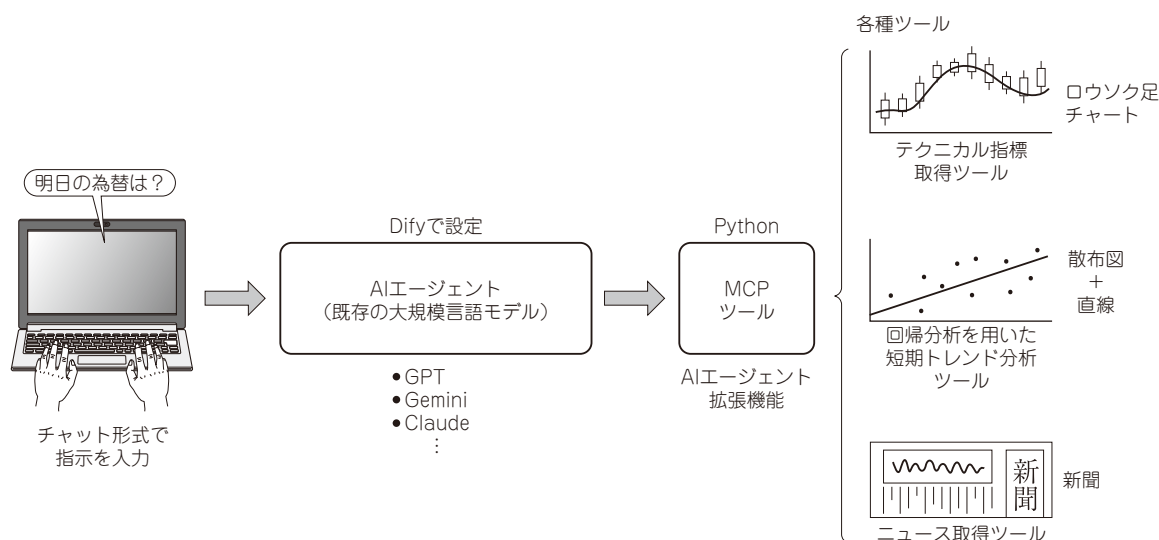


図1 為替予想をするAIチャット・ツールのシステム全体像
外部データの取得や処理にMCPを利用する

● やること…為替予測AIエージェントを作る

本章では、AIチャット・エージェントを使って「明日の為替はどうか」という問いに答える仕組みを構築します。エージェント自体はノーコード生成AIプラットフォームDify^{ディファイ}上で作成します。為替予測に必要な外部データの取得、処理はMCP (Model Context Protocol) に対応した拡張機能として実装します。

● 自作MCPツールとAIエージェントを連携

本章で構築するMCPツールは次の4つです。

- ①日付取得ツール：明日の日付や計算に必要な日付情報を提供
- ②テクニカル指標算出ツール：為替データを取得し、単純移動平均線やRSI (Relative Strength Index, 相対力指数) などのテクニカル指標を生成
- ③回帰モデルを用いた短期トレンド分析ツール：シンプルな機械学習モデルを用いて短期的な為替方

向を推定

- ④ニュース取得ツール：為替や経済に関する主要ニュースを収集

これらをDifyのエージェントと連携させることで、複数の情報ソースを組み合わせたシンプルな為替予測を行います(図1)。本章で作成するシステムはデモンストレーションを目的としています。予測精度の高さは目的としていません。

ステップ① …DifyでAIエージェントを構築する

Difyは、AIエージェントやワークフローをGUIで作成できるウェブ・アプリケーションです。コードを書かなくても、GUIでモデル設定やオーケストレーションを操作できます。

Difyには次の2つの提供形態があります。